





はじめに お読みください

(Windows 95インストールモデルの場合は、先に『ご利用にあたって』をご覧ください。)

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。 なお本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。 また、実際の画面とは多少異なることがあります。

| 操作の流れ | 1 | 添付品の確認2 不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。 |
|-------|---|--|
| | 2 | 設置 |
| | 3 | 添付品の接続 使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページ をご覧ください。接続する前には必ず添付の『安全にお使いいただくために』を お読みください。 |
| | | ミニタワー型の場合 |
| | 4 | Windowsのセットアップ |
| | 5 | 980FFICIAL PASSメンバーへの登録 |
| | 6 | 使用する環境の設定と上手な使い方 |
| | 7 | マニュアルの使用方法53 添付されているマニュアルの使い方について説明しています。 |



添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。 下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

1 箱の中身を確認する

P.4 〇の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

は1つにパックされています。

保証書

(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書 記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理に ついては、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によっ て機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理い たします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです) 本体 添付品収納箱 (ディスプレイやキーボードなど の周辺機器を含まないMate

NXを指します。)

キーボード

マウス



- *1 一太郎9·花子9パック(一太郎9、花子9、三四郎9、ATOK12、Shuriken 2.0、Sasuke)
- *2 Microsoft_© Office 2000 Personal (Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_© 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf_© Basic)
- *3 Microsoft_© Excel97 & Word98 & Outlook[™]98 for Windows_© 、Microsoft_©/Shogakukan Bookshelf_© Basicマルチメディア統合辞典Version2.0(添付)

2 添付品収納箱の中身を確認する



 ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確 認する

(P.5 G- で、ディスプレイのあるなし、種類がわかります)

④本体の背面にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が −致していることを確認する

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保 証書は大切に保管しておいてください。

日型番を記入する

型番をこの枠に記入しておくと、添付品の確認、マウス、キーボード、 ディスプレイ、リンクケーブル/モジュラーケーブルの接続を行うと きに便利です。



の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

| 型番 | クロック周波数 |
|----|---------|
| 40 | 400 MHz |
| 45 | 450 MHz |
| 50 | 500 MHz |
| 55 | 550 MHz |

CPUの種類を表しています。

| 赳 畴 | CPU |
|-----|---------------------------------------|
| Н | Intel [®] Celeron™プロセッサ |
| J | Penteum [®] III プロセッサ |

本体の型を表しています。

| 型番 | 本体の型 |
|----------------|---------|
| C または L | 省スペース型 |
| М | ミニタワー型 |
| S | デスクトップ型 |

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

| 型番 | ディスプレイ |
|----|--|
| 5 | 15 インチ CRT ディスプレイ(DV15A2) |
| 7 | 17 インチ CRT ディスプレイ(DV17C4) |
| Е | 18 インチ広視野角 TFT 液晶ディスプレイ(F18S1W) |
| G | 15インチ広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S21W) |
| Н | 14.1 インチ液晶ディスプレイ(F14T41W) |
| L | 15 インチ TFT 液晶ディスプレイ(F15T2W) |
| N | 15.4 インチ高精細 TFT 液晶ディスプレイ(F15R42W) |
| R | 15インチTFTデジタル液晶ディスプレイ(F15T31W) |
| Z | なし |

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

| 型番 | 選択アプリケーション |
|----|---------------------------|
| D | Office 2000 Personal |
| Т | なし |
| U | ー太郎 9・花子9パック |
| V | Word 98 & Excel 97 |
| W | 一太郎 9 & 1-2-3 2000 |

3.5インチベイ、5インチベイに標準内蔵されているファイルとキー ボードの種類を表しています。

| 型 番 | フロッピーディスク関連 | 光ディスク関連 | キーボード |
|-----|---------------|--------------------|-----------------------|
| 5 | なし | なし | USB 小型キーボード |
| 6 | フロッピーディスクドライブ | CD-RW ドライブ | PS/2 109 キーボード |
| В | フロッピーディスクドライブ | CD-RW ドライブ | USB 109 キーボード |
| н | フロッピーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | USB 小型キーボード |
| L | スーパーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | USB 109 キーボード |
| М | フロッピーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | USB 109 キーボード |
| S | スーパーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | USB98 配列キーボード |
| Т | フロッピーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | PS/2 109 キーボード |
| U | スーパーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | PS/2 109 キーボード |
| V | フロッピーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | USB98 配列キーボード |
| W | スーパーディスクドライブ | CD-ROM ドライブ | USB 小型キーボード |
| Z | なし | なし | USB 109 キーボード |

メモリの容量とネットワークボードの種類を表しています。

| 型番 | メモリ容量 | ネットワークボード |
|----|-------|-------------------|
| 2 | 128MB | FAX モデムボード |
| А | 32MB | LAN ボード |
| В | 64MB | LAN ボード |
| С | 96MB | LAN ボード |
| D | 128MB | LAN ボード |
| т | 32MB | FAX モデムボード |
| U | 64MB | FAX モデムボード |
| V | 96MB | FAX モデムボード |

ハードディスクの容量を表しています。

| 型番 | ハードディスク容量 |
|----|-----------|
| 4 | 4.3 GB |
| 6 | 6.4 GB |
| 8 | 8.4 GB |
| E | 18.0 GB |

上記の ~ のすべての組合せが実現できているわけではありません。



設置場所を決める



添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、 注意事項を守って正しくお使いください。



電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

BECOMINANCES

ē

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



◯設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

- **温度**10 ~35
- **湿度**20**%**~80**%**
- (ただし結露しないこと)
- 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
- (机の上など)

7

🗙 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだMate NXを指します。)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎 重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因と なります。

本機の接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際に本機を置いてしまうと、うまく接続できません。机などの 裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保して ください。キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要で す。

本機を移動するときは.....

本機に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を 取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面 を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損 の原因となりますので、大切に取り扱ってください。



デスクトップ型の場合はP.18をご覧ください。 省スペース型の場合はP.27をご覧ください。

ミニタワー型の場合

スタビライザをセットする

本体には、安定して設置するためのスタビライザという脚があります。ス タビライザは梱包箱から出したままの状態では、本体底面にたたみ込ま れています。転倒防止のため、このスタビライザを出して設置してくださ い。



本体はスタビライザを使用して、縦置きで使用してください。 横置きで使用すると、故障の原因となります。



1. マウス、キーボードを接続する

●または②のどちらかで接続してください。

●USB109キーボード(P.6●- がB、M)の場合 添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接 続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側に ある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいませ ん。



または



PS/2 109キーボード(P.6G- が6、T)の場合
 添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタに接続する



2. ディスプレイを接続する

●または②のどちらかで接続してください。

本体のアナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用 できません。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

①アナログディスプレイ(P.5 ⑤- が5、7、E、H)を接続する場合

~ の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネ クタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネクタ の形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ 止めする

液晶ディスプレイの場合は、さらに本体と液晶ディスプレイをUSB ケーブルで接続する



②デジタルディスプレイ(P.5 ⑤- がG)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでくだ さい。

本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモ デムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここで は、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(10) に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示()に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使 うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

、安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。

アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て①~③の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。液晶ディ スプレイの電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイ のマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

③本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

- 度電源が入り、数秒で電源が切れます。 (故障ではありません。)



ミニタワー型の場合はP.9をご覧ください。 省スペース型の場合はP.27をご覧ください。

デスクトップ型の場合

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

●または②のどちらかで接続してください。

● USB109キーボードまたはUSB98配列キーボード(P.6⑤- がMまたはV)の場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側に ある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいませ ん。



または



PS/2 109キーボード(P.6G- がT)の場合

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続する

●または②のどちらかで接続してください。(MA40H/Sの場合は、① アナログディスプレイのみ接続ができます。)

本体のアナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用 できません。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

①アナログディスプレイ(P.5 G- が5、7、H)を接続する場合

~ の順番に接続してください。

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります。 機種とアナログRGBコネクタの位置を確認してから接続してくだ さい。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

液晶ディスプレイの場合は、さらに本体と液晶ディスプレイを USBケーブルで接続する

MA55J/S、MA50J/S、MA45J/Sの場合



MA40H/Sの場合



②別売のデジタルディスプレイを接続する場合

ここでは、15インチTFTデジタル液晶ディスプレイ(F15T31W)を例 に説明します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで押し込んでください。

本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモ デムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここで は、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する

MA55J/S、MA50J/S、MA45J/Sの場合





2モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。

MA55J/S、MA50J/S、MA45J/Sの場合





4. アース線、電源ケーブルを接続する

/ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 ^{東火注意} 火災の原因となります。

アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 次のページのイラストを見て、①~③の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。液晶ディ スプレイの電源ケーブルの接続については、液晶ディスプレイ のマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

❸本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



以上で添付品の接続は完了です。 P.39^T Windowsのセットアップ」へ進んでください。 ミニタワー型の場合はP.9をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.18をご覧ください。

省スペース型の場合

スタビライザをセットする

本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザ と言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビ ライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒 防止のため、必ずイラストのようにスタビライザをスタビライザ取り付 け用ネジで取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、本体の上に約 17kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

1 机の端などに本体を横置きに安定させる

2 2つのスタビライザを図のようにかみ合わせる



③本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用 ネジ2個を使い取り付ける

本体を横に倒すときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないよう に、厚手の紙や布などを敷いておくことをお勧めします。



下図のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、1つのス タビライザを本体の、壁などと反対側の側面のみにセットすることがで きます。



1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

●机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

②パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する

「A」と刻印された2ヵ所のネジ穴に、本体底面の突起がはまります。



❸1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り 付ける

本体の右側にセットする場合



本体の左側にセットする場合



1. マウス、キーボードを接続する

●または②のどちらかで接続してください。

①USB小型キーボード、USB109キーボードまたはUSB98配列キー
 ボード(P.6 ⑤・ が5、H、L、M、W、ZまたはV)の場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合は、液晶ディスプレイの左 側にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかま いません。



②PS/2 109キーボード(P.6⑤- が4、T、U)の場合

添付のマウス(緑)キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ 接続する



2. ディスプレイを接続する

●または②のどちらかで接続してください。

本体のアナログRGBコネクタとデジタルRGBコネクタは、同時に利用 できません。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

①アナログディスプレイ(P.5 ⑤- が5、7、H、N)を接続する場合

~ の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体と液晶ディスプレイを USBケーブルで接続する



②デジタルディスプレイ(P.5 ⑤- がG、R)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでくだ さい。

本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する



3 リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』「FAXモ デムボード」をご覧になり、接続前の確認を行ってください。ここで は、モジュラーコンセントに接続する場合を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者 の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



●モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタと本体のアイコン 表示(一合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



金全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 (注意 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

本体に添付する、サービスコンセント付電源ケーブルをご使用になる前 に、下記の注意事項をよく読んでから接続してください。



サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は 接続しないでください。消費電力の大きな機器などに接続しま すと、火災の原因となります。



サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ 足配線をしなしでください。

サービスコンセントで供給できるのは3Aまでです。

次のページのイラストを見て①~〇の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストは液晶ディスプレイの場合です。CRTディ スプレイの電源ケーブルの接続については、CRTディスプレイの マニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグをサービスコンセントに差し込む

③本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを 壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません。)



以上で添付品の接続は完了です。 次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

Windows**のセットアップ**

はじめて本機の電源を入れるときは、自分の名前などを入力するWindows 98セットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分程度の 時間がかかります。

セットアップをするときの注意

4

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない
 この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先にWindows 98のセットアップ作業を完了させてから、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- 途中で電源を切らない
 作業の途中では絶対に電源を切ったりしないでください。作業の途中
 で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあって
 も、故障ではありません。慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

次のものを準備しておいてください。

- 『Microsoft® Windows® 98ファーストステップガイド』 セットアップの途中で、表紙に記載されているWindows 98の製造番号(プロダクトキー)が必要になり ます。
- ・使用する人の名前 本機を使う人の名前を入力する必要があります。登 録する名前を決めておいてください。



電源を入れる

●、②の順番に電源を入れてください。

● ディスプレイの電源を入れる

CRTディスプレイの場合



アナログ・デジタル液晶ディスプレイの場合



2本体の電源を入れる

ミニタワー型の場合



デスクトップ型の場合



省スペース型の場合



セットアップの作業手順

電源を入れると、しばらくして次の画面が表示されます。

この度は当社のパーソナルコンピュータをお買い求めいただきまして、 諏にありがとうございます。

Windows98 セットアップでは、次のものが必要となりますので用意 しておいてください。 ・ ればしおに必振みください』マニュアル (TWIndows のセットアップ」に従ってセットアップしてください) ・ 防値croatit Mindows 88 ファーストステップガイド』マニュアル (表紙に記載されているプロダクト キーを登録します) ・使用する人の名前 (ユッザー情報して名前を登録します)

<注意>

Windows98 セットアップには約 30 分かかります。セットアップが完了し Windows98 が起動するまで、絶対に電源を切らないでください。 Enter キーを押すと、Windows98 セットアップを開始します。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に 手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故 障の原因になります。 障害が発生した場合や、誤って電源スイッチを押してしまった場合は、 『活用ガイド ソフトウェア編』PART4トラブル解決Q&A」をご覧く ださい。強制終了の方法やスキャンディスクの操作方法が記載されてい ます。

- キーボードの【Enter】を押すと、ハードディスクのチェックが 始まるので、チェックが終了したら【Enter】を押す
- ❷ 次のような画面が表示されたら、キーボードを使って名前と会社名を入力する

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

会社名を入力する場合は、会社名の欄にマウスポインタを合わせ てクリック

名前と同じように会社名を入力することができます。

「次へ」ボタンをクリック

| Windows 98 セットアップ ウィザード | | |
|-------------------------|--------------------------------------|--|
| | ユーザー情報 | |
| | 下記のボックスに名前を入力してください。 会社名も入力 できます。 | |
| | 名前(点): | |
| | 会社名(C); | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | < 戻る(B) 次へ > キャンセル | |

④「使用許諾契約書」の画面を確認する

内容をよくお読みの上、次に進んでください。

▼をクリックして続きを見る

使用契約を読んで「同意する」をクリック (同意しない場合、セットアップは続行できません)

「次へ」ボタンをクリック

| Windows 98 セットアップ ウィ | ザード | |
|----------------------|---|--|
| | 使用許諾契約書 | |
| | 次の使用時特認約書をお読みください。セットアップを続 行するには、契約への同意が必要です。 | |
| | MICROSOFT(r) 日本語版 | |
| | 使用料耗裂約者 変要一以下のライセンス裂約者を注意してお読みくだ さい。本使用料耗裂効素(以下「本裂約者」といい注 す)は、お客様(個人または法人のいずれであるかを問 いません)と主記に示されたマイクロソフト、ソフト ウェア製品(以下 はメンフトウェア製品)または「本 ソフトウェア」といいます)とともに入手されたコン | |
| | ○ 同意する(点) PageDown キーを使って 「同意しない(D) スクロールしてください。 | |
| | < 戻る(B) 次へ > キャンセル | |
| | | |

④ キーボードを使ってプロダクト キーを入力する

プロダクト キーを入力

プロダクト キーは、添付の『Microsoft® Windows® 98ファーストス テップガイド』の表紙に記載されています。

8(ハチ)とB(ビー)などの間違えやすい文字にご注意ください。

「ヘルプ」ボタンをクリックし、表示された画面で「キーボードヘル パを使用する」にチェックをつけて「OK」ボタンをクリックすると、 キーボードを使用せずにプロダクトキーを入力することができま す。

「次へ」ボタンをクリック



⑤ 画面の指示に従ってセットアップを進める



何度か画面が変わり、次の画面が表示されるまでしばらくかかりま す。途中で再起動を促す画面が表示された場合は、「はい」ボタンをク リックしてください。 ⑥ しばらくして次の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、▲をクリック



これでWindows 98のセットアップの作業は完了です。





❷「Windowsの終了」をクリック



❸ 本体の電源を切る

「電源を切れる状態にする」をクリック

「OK」ボタンをクリック



自動的に電源が切れます。

❹ ディスプレイの電源スイッチを切る

980FFICIAL PASSメンバーへの登録

98OFFICIAL PASS メンバー(正規ユーザー)への登録を必ず行ってくだ さい。登録方法について詳しくは、添付の『98OFFICIAL PASSお客様登録 申込書』をご覧ください。 なお、本機をインターネットに接続している場合には、インターネットで 登録を行うこともできます。

「980FFICIAL PASS お客様登録カウンター」 http://www.pc98.nec.co.jp/register/

なお、下記のホームページからリンクがはられています。 「98Information」

http://www.nec.co.jp/98/

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能 の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』および『活 用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。また、MA40H/Sの場合は、 『本機をお使いの方へ』を読んでから、『活用ガイド ハードウェア編』。 『活用ガイド ソフトウェア編』をお読みください。

① 補足説明(Read meファイル)を読む

6

本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアル では掲載していない機能について説明したファイルがあります。「ス タート」ボタン 「プログラム」「補足説明」をクリックしてお読みく ださい。

2 システムスイッチの設定(電源スイッチの設定)

工場出荷時でのシステムスイッチの設定では、「パワーボタン」に なっており、電源スイッチを押すと、電源を入れる/切る機能になって います。「スリープボタン」に設定し、電源スイッチを押すと、スタンパ イ/スタンバイからの復帰機能になります。この設定を変更したい場 合や設定内容の詳細については、『活用ガイド ハードウェア編』の 「PART2 システム設定」の「省電力の設定」をご覧ください。

MA40H/Sの場合、工場出荷時での「Power Button Function」の設定は、 「On/Off (パワーボタン)になっており、電源スイッチを押すと、電源 を入れる/切る機能になっています。「Suspend (スリープボタン)に設 定し、電源スイッチを押すと、スタンバイ/スタンバイからの復帰機能 になります。この設定を変更したい場合や設定内容の詳細については 『本機をお使いの方へ』の「2. システム設定」の「Power Management Setupの設定」をご覧ください。

セキュリティの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』の 「PART1 本体の構成各部」の「Mate NXセキュリティ/マネジメント 機能」をご覧ください。

BIOS LOCK

パスワードを設定する

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、 本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止する ことができます。

指紋認証を利用する

別売の指紋認証(PK-FP002)を利用することで、本体起動時に BIOSレベルで指紋によるユーザー認証を行い、不正起動やBIOS の設定変更を確実に防止します。またユーザパスワードの入力 を必要とするWindowsログインや、スクリーンセーバーのロッ ク解除等で指紋認証を行い、許可された人以外のPC不正使用を 防ぐことができます。MA40H/S、MA40H/Lは、指紋認証を利用し たBIOS LOCKはできません。

スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダ/ ライタ(PK-SM001)とスマート カード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることがで きます。MA40H/S、MA40H/Lは、スマートカードを利用した BIOS LOCKはできません。

・ I/O**ロック**

フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどを利用できな いようにします。コンピュータウイルスの侵入を防いだり、パソコ ンのデータを無断コピーされたり、パソコンに悪影響を与えるおそ れのあるアプリケーションなどのインストールを未然に防止する ことができます。

・筐体ロック

内蔵部品(メモリやハードディスク)の盗難やスーパバイザパス ワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、鍵をかけること ができます。

④ データのバックアップの設定

Masty Data Backup

本機に内蔵されているハードディスクドライブは非常に精密に作ら れています。少しの振動や衝撃も故障の原因となることがあります。 ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えな くなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを 作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアッ プをとるようおすすめします。

本機にはハードディスクをバックアップするアプリケーション (Masty Data Backup)が添付されています。「アプリケーションCD-ROM」より追加してからお使いください。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』「ハードディスクドライ ブ』『活用ガイド ソフトウェア編』「PART1 アプリケーションの 概要と削除/追加」の「Masty Data Backup」をご覧ください。 MA40H/Lには、Masty Data Backupは添付されていません。

・ BIOSセットアップメニュー

「システムのバックアップ警告」を設定すると、本機起動時にバック アップを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことがで きます。(MA40H/Sはこの機能を利用できません。)

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」の 「セキュリティの設定」をご覧ください。

⑤利用する添付アプリケーションの設定

- VirusScan
- · Easy CD Creator Lite
- DirectCD

本機には、ウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan)が 添付されています。VirusScanは、「アプリケーションCD-ROM」より追 加してからお使いください。またCD-RWドライブが搭載されているモ デルでは、CD-RおよびCD-RWヘデータを書き込むアプリケーション (Easy CD Creator Lite、DirectCD)が添付されています。添付アプリ ケーションは「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」より追加 してからお使いください。

詳しくば『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

④運用・管理するための添付アプリケーションの設定

- ・メンテナンスウィザード
- RSA SecurPC
- · DMITOOL
- pcANYWHERE32 EX
- CyberAccess

本機には、スキャンディスクなどを定期的に実行させるための機能 (メンテナンスウィザード)、ファイルやフォルダの暗号化/復号化を 設定する機能(RSA SecurPC)、本機に接続されているパソコンの情報 を管理する機能(DMITOOL)、遠隔地からパソコンを操作する機能 (pcANYWHERE32 EX)、システム管理者向けと一般ユーザ向けの利用 環境を設定する機能や、Windows 98の動作に影響を与えるファイルを 監視する機能(CyberAccess)を提供するアプリケーションが添付され ています。メンテナンスウィザード以外の添付アプリケーションは、 「アプリケーションCD-ROM」より追加してからお使いください。

なお、P.49 **の**システムスイッチの設定(電源スイッチの設定)」により 利用できない機能があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア 編』をご覧ください。

MA40H/L**には、**DMITOOL、pcANYWHERE32 EX**は添付されていま** せん。

- 上手な使い方
 - トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』『PART4 トラブルQ&A』「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

・本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスな ど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハード ウェア編』PART3 付録」本機のお手入れ」をご覧ください。



本機に添付されているマニュアルを紹介します。目的に合わせてお読み ください。ただし、モデルにより添付されるマニュアルが異なりますの で、よく読んでからお使いください。 またマニュアル類はなくさないようにご注意ください。なくした場合は

でにマーユアル類はなくとないなうにと注意くたとい。なくした場合は 『活用ガイド ソフトウェア編』の「PART4 トラブル解決Q&A」の「その 他」をご覧ください。

マニュアルを利用する前に

MA40H/Sをご購入の方へ・・・

『本機をお使いの方へ』 MA40H/Sに関するBIOSの設定の方法、Windows NT 4.0を利用するときのセットアップ方法について記載 しています。



『活用ガイド ハードウェア編』『活用ガイド ソフト ウェア編』と合わせてお読みください。

USB98記列キーボードをご購入の方へ・・・

『補足ガイド USB98配列キーボード』 USB98配列キーボードの使い方、他のOSを利用する ときの、キーボードドライバのセットアップについて 記載しています。『活用ガイド ハードウェア編』『活 用ガイド ソフトウェア編』と合わせてお読みください。



各マニュアルの利用方法

『安全にお使いいただくために』 本機を安全にお使いいただくための情報を記載して います。使用する前に必ずお読みください。

[■]Microsoft_® Windows_® 98ファーストステップガイド』 Windows 98の全般的な基礎知識や基本的な操作方法 を確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ハードウェア編』 本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定) について確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの削除/追加、再セットアップする ときや、トラブルが起きたときにお読みください。

『ハードウェア 拡張ガイド』 本機の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機 器の取り付けを行うときにお読みください。

ディスプレイのユーザーズマニュアル 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセット になったモデルの場合は、ディスプレイに添付されて います(P.2^T 1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利 用の前に、必ずお読みください。

選択アプリケーションのユーザーズマニュアル モデルによって、一太郎9・花子9パック、Office 2000 Personal、Word98 & Excel97、一太郎9 & 1-2-3 2000な どのマニュアルが添付されています(P.2^r 1 添付品 の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みくださ い。











『メンテナンス&サポートのご案内』 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンス とサポート情報について知りたいときにお読みくだ さい。



『NEC PCあんしんサポートガイド』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時 のサービス網について知りたいときにお読みください。



電子マニュアルの利用について

次のWebサイト(PICROBO)では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル 化し、ダウンロードできるサービスを行っています。また、NECPCマニュ アルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm

Microsoft関連製品の情報について
 次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発
 者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用する
 ための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことが ありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱 丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft, Windows, Outlook, Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標 または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」「一太郎9・花子9パック」「Shuriken」「Sasuke」は、株式会社ジャストシステムの登録商標 または商標です。

商標「三四郎」は株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

「一太郎9・花子9パック」一太郎9」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9・花子9パック」一 太郎9」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Design のロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標で す。RSA SecurPCおよびSecurity Dynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

pcANYWHERE32は、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

PS/2**は**、IBM**が所有している商標です。**

Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

CeleronはIntel Corporationの商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

二版 1999年7月 ©NEC Corporation 1999 日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。 808-877675-104-A2



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率100%)を使用しています。